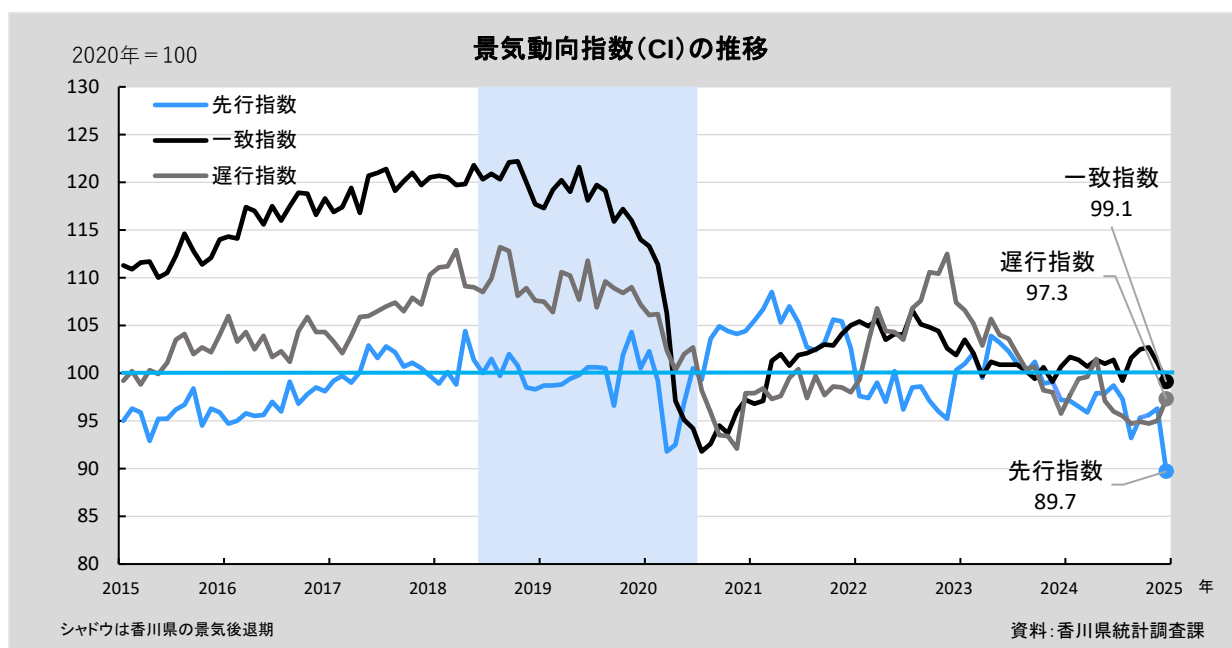


概況	緩やかに持ち直している。
個人消費	堅調に推移している。
住宅投資	低調に推移している。
公共投資	持ち直している。
生産活動	横ばい圏内の動きとなっている。
雇用情勢	緩やかに持ち直している。
貿易	輸出は増加、輸入は減少している。
観光	持ち直しの動きが続いている。

景気動向指数(かがわ CI)

一致指数 2カ月連続下降



景気の現状をみると、1月のCI一致指数は99.1（前月比▲2.0ポイント）と2カ月連続で下降。CI先行指数は89.7（同▲6.6ポイント）と4カ月ぶりに下降。CI遅行指数は97.3（同+2.3ポイント）と2カ月連続で上昇。

景気の現状を示す一致系列の個別指標では、建築着工床面積、所定外労働時間指数等が下降に寄与し、前月から2.0ポイント下降となった。

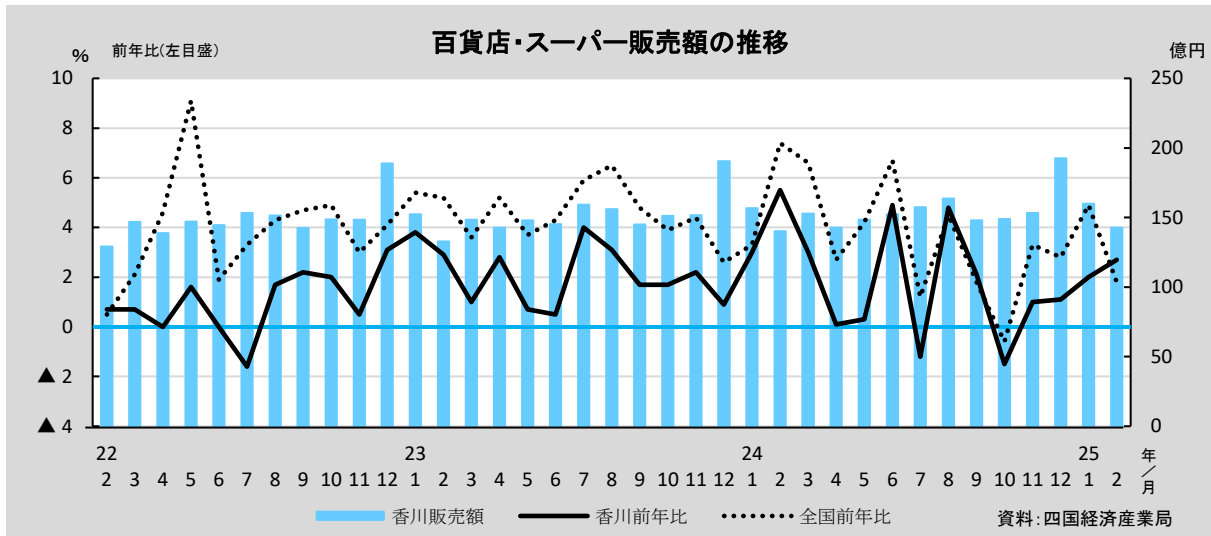
採用 景気 指標	先行系列		一致系列		遅行系列	
		寄与度		寄与度		寄与度
	1 新規求人数	▲ 0.49	1 雇用保険受給者実人員	0.54	1 常用雇用指数	0.66
	2 新車新規登録・届出台数		2 有効求人倍率	0.58	2 有効求職者数	0.36
	3 鉱工業在庫率指数	▲ 2.60	3 所定外労働時間指数	▲ 0.90	3 消費者物価指数	0.41
	4 新設住宅着工戸数	▲ 2.75	4 鉱工業生産指数	▲ 0.08	4 家計消費支出	▲ 0.06
	5 金融機関貸出残高	0.33	5 鉱工業出荷指数	▲ 0.65	5 鉱工業在庫指数	1.40
	6 消費者態度指数	▲ 0.84	6 建築着工床面積	▲ 1.21	6 法人事業税調定額	▲ 0.79
			7 百貨店・スーパー既存店販売額	▲ 0.32	7 第3次産業活動指数	0.54

個人消費

堅調に推移している

●百貨店・スーパー販売額

4 カ月連続増加

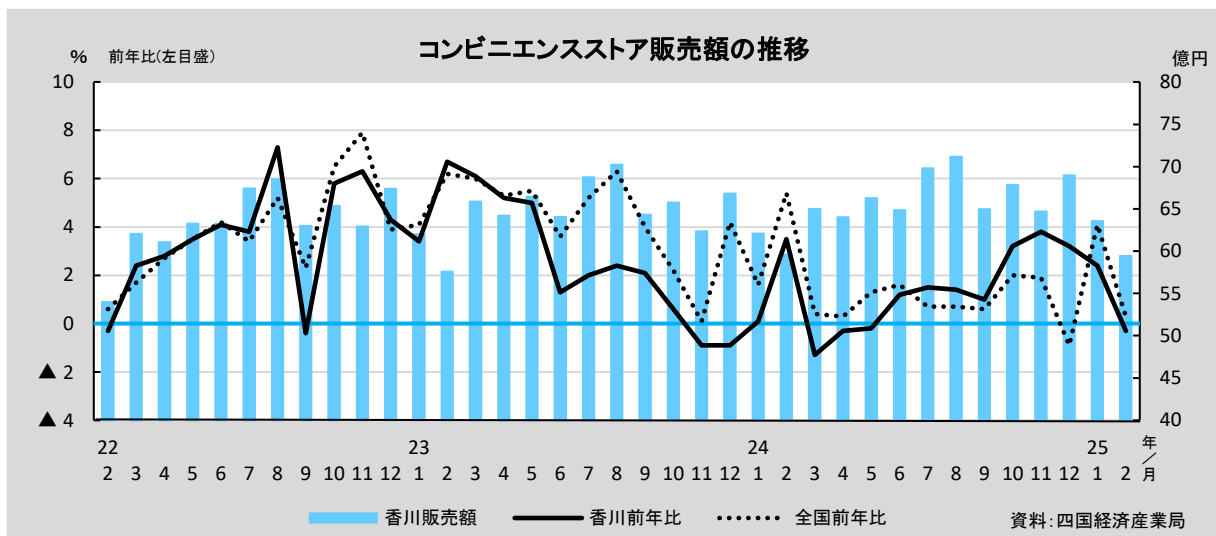


2025/2月	衣料品	身の回り品	飲食料品	家具	家庭用 電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(万円)	80,496	49,806	1,099,535	1,346	3,765	61,745	130,037	426	1,427,156
前年同月比(%)	▲ 6.8	▲ 11.1	4.2	▲ 12.9	▲ 6.3	4.5	2.1	▲ 15.5	2.7

2月の百貨店・スーパー全店(89店)の販売額は142.7億円で、前年同月比+2.7%と4カ月連続で増加した。「飲食料品」は引き続き生鮮野菜や米の価格上昇が売上を押し上げる傾向がみられ、同+4.2%と好調に推移した。一方、「身の回り品」はインポートバッグの動きが鈍く同▲11.1%減少、「衣料品」は低気温で春物衣料の動きが鈍く同6.8%と減少した。

●コンビニエンスストア販売額

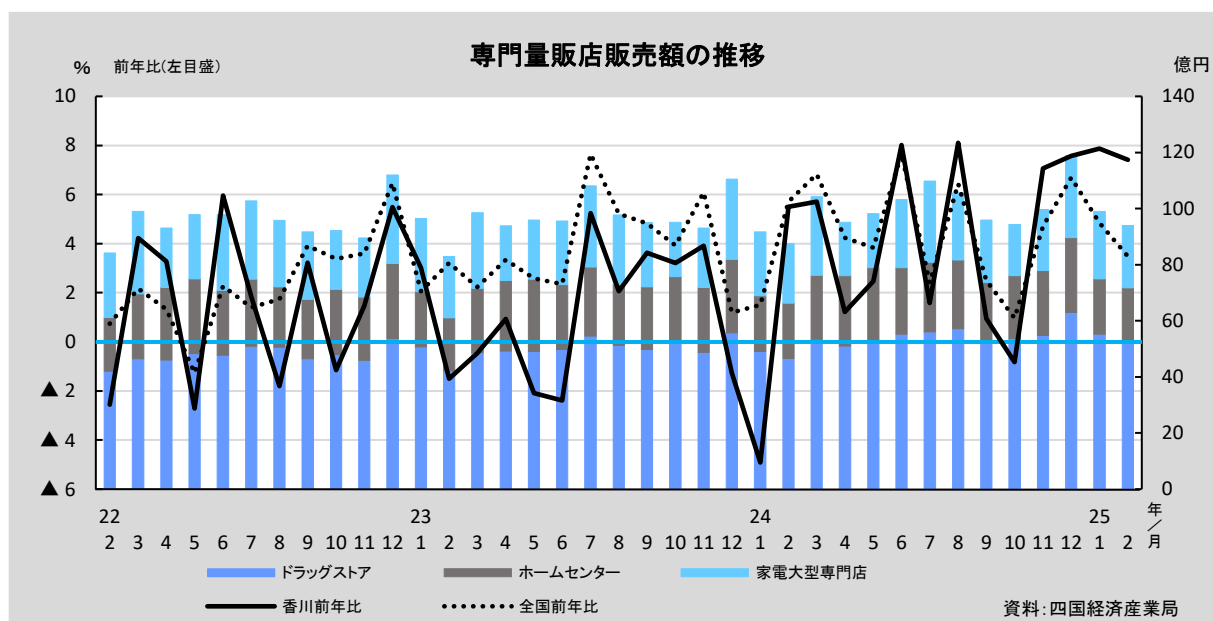
9 カ月ぶり減少



2月のコンビニエンスストア全店(409店)の販売額は59.4億円で、前年同月比▲0.3%となり、9カ月ぶりに減少した。

●専門量販店販売額

4 カ月連続増加 ↑

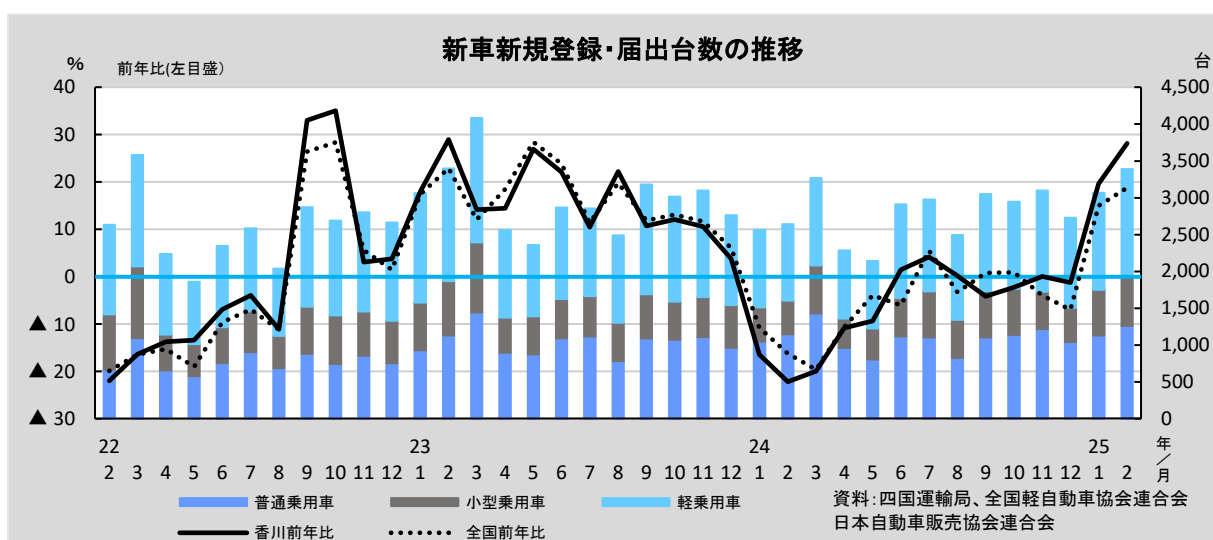


2月の専門量販店全店（228店）の販売額 94.0 億円で、前年同月比+7.4%と4カ月連続で増加した。

業態別にみると、**家電大型専門店**（27店）の販売額は、22.3 億円で前年同月比+4.8%となった。**ドラッグストア**（155店）の販売額は、52.5 億円で同+12.7%となった。**ホームセンター**（46店）の販売額は、19.3 億円で同▲2.3%となった。

●新車新規登録・届出台数

2 カ月連続増加 ↑



2月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は 3,388 台で、前年同月比+28.1%と2カ月連続で増加した。

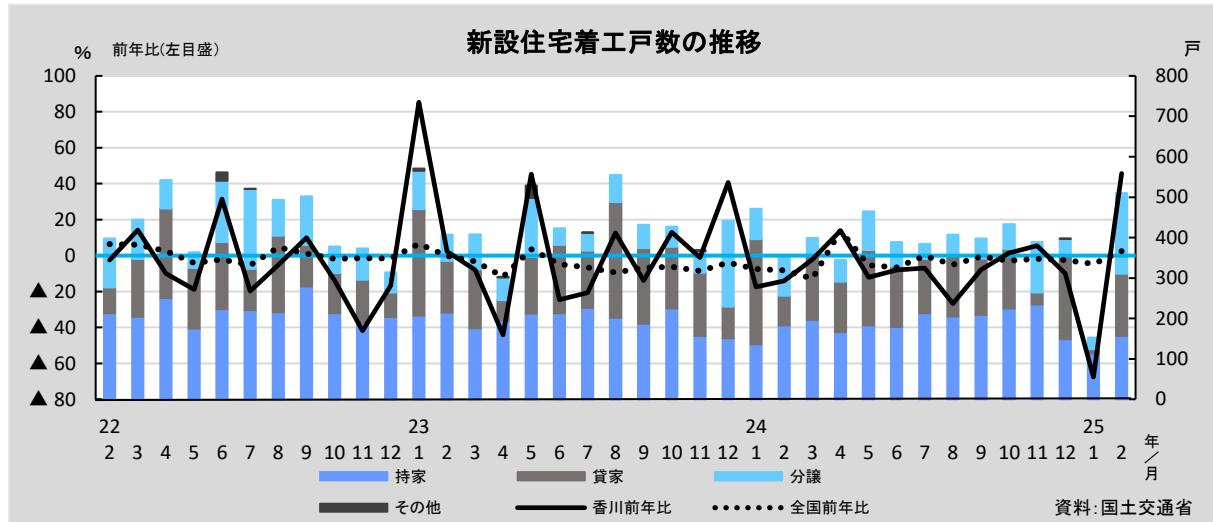
車種別にみると、普通乗用車は前年同月比+9.8%、小型乗用車は同+47.7%、軽乗用車は同+39.8%となった。

住宅投資

低調に推移している

●新設住宅着工

3 カ月ぶり増加 ↑



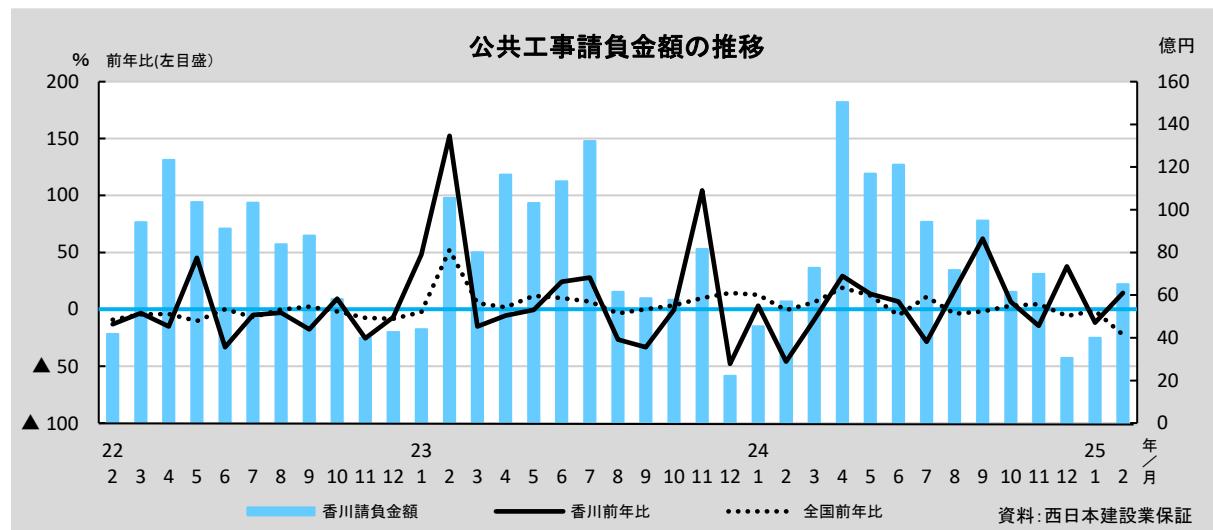
2月の新設住宅着工戸数は510戸で、前年同月比+45.7%と3カ月ぶりに増加した。利用関係別にみると、**持家**で前年同月比▲14.2%、**貸家**で同+111.0%、**分譲住宅**で同+111.7%となった。

公共投資

持ち直している

●公共工事請負金額

2 カ月ぶり増加 ↑



2月の公共工事請負金額は65.2億円で、前年同月比+14.3%と2カ月ぶりに増加した。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比▲4.4%、**県**で同▲11.5%、**市町**で同+124.0%となった。

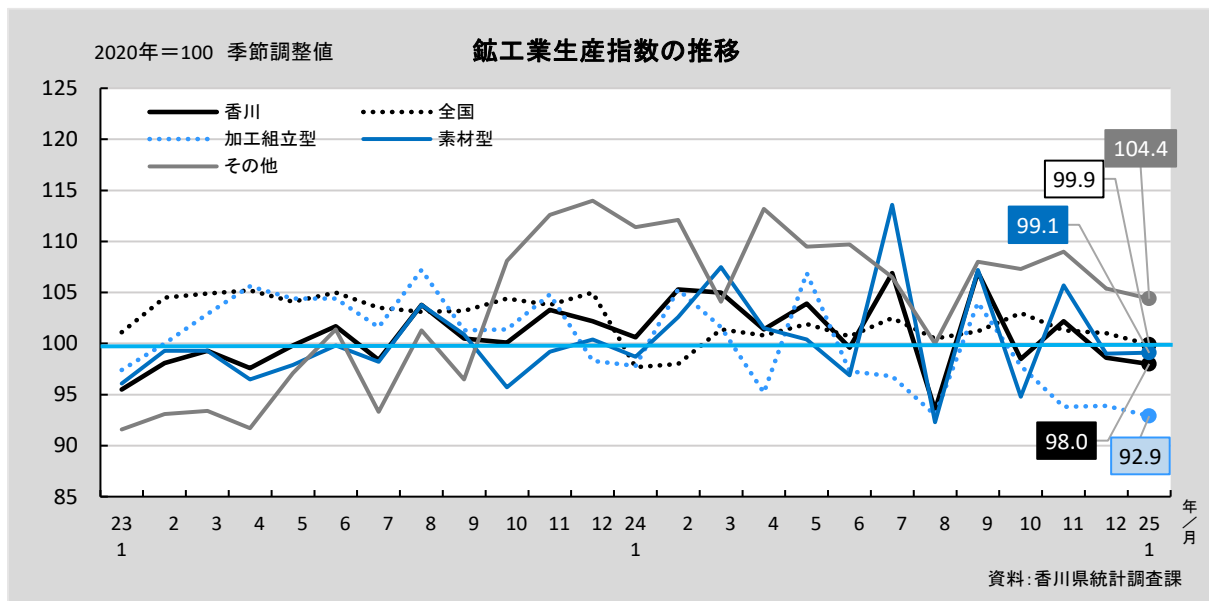
2024.4月～2025.2月の累計では前年同期比7.9%増加している。

生産活動

横ばい圏内の動きとなっている

● 鉱工業生産指数

2 カ月連続低下 ↓



1月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は98.0（前月98.6）となり、2カ月連続で低下した。

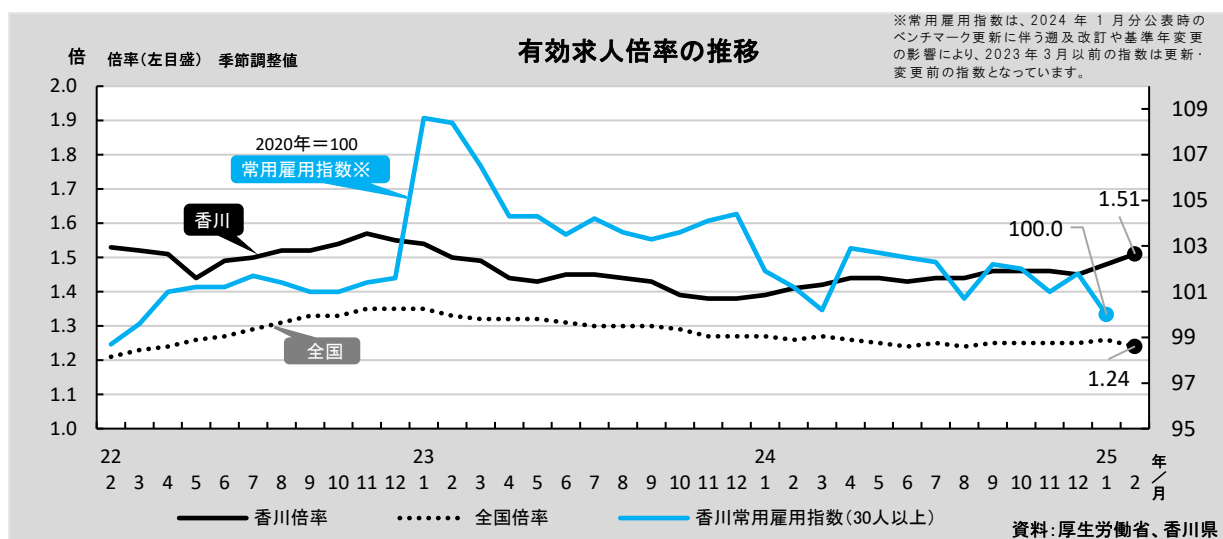
業種別では、加工組立型の輸送機械工業（船用ディーゼル機関など）は前月比▲13.8%、その他業種のその他工業（木製家具など）は同▲2.3%と低下した。一方、加工組立型の汎用・生産用機械工業（建設用クレーンなど）は同+8.0%と上昇した。

雇用情勢

緩やかに持ち直している

● 有効求人倍率

2 カ月連続増加 ↑



2月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.51倍（全国4位）で前月より0.03ポイント上昇した。

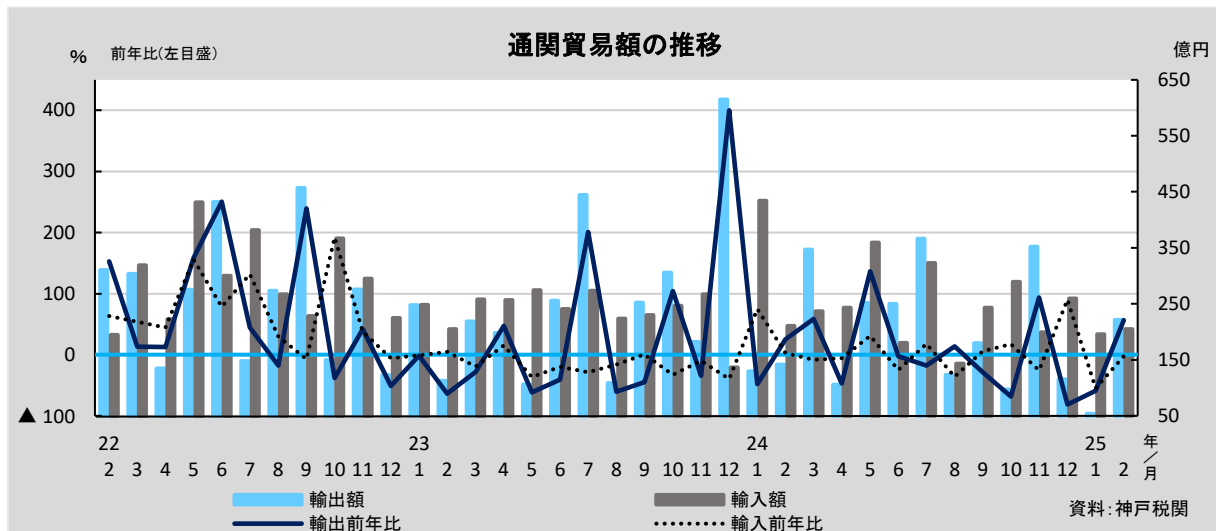
新規求人（原数値：前年同月比）は、医療・福祉、教育・学習支援業、サービス業（他に分類されないもの）等で増加となり、全体で+3.1%と2カ月ぶりに増加した。

1月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、100.0となり、前年同月比は▲1.9と13カ月連続で減少した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業	2.59
事務的職業	0.81
販売の職業	2.68
サービスの職業	3.64
生産工程の職業	2.50
輸送・機械運転の職業	2.61
建設・採掘の職業	6.76
運搬・清掃・包装等の職業	1.33

貿易

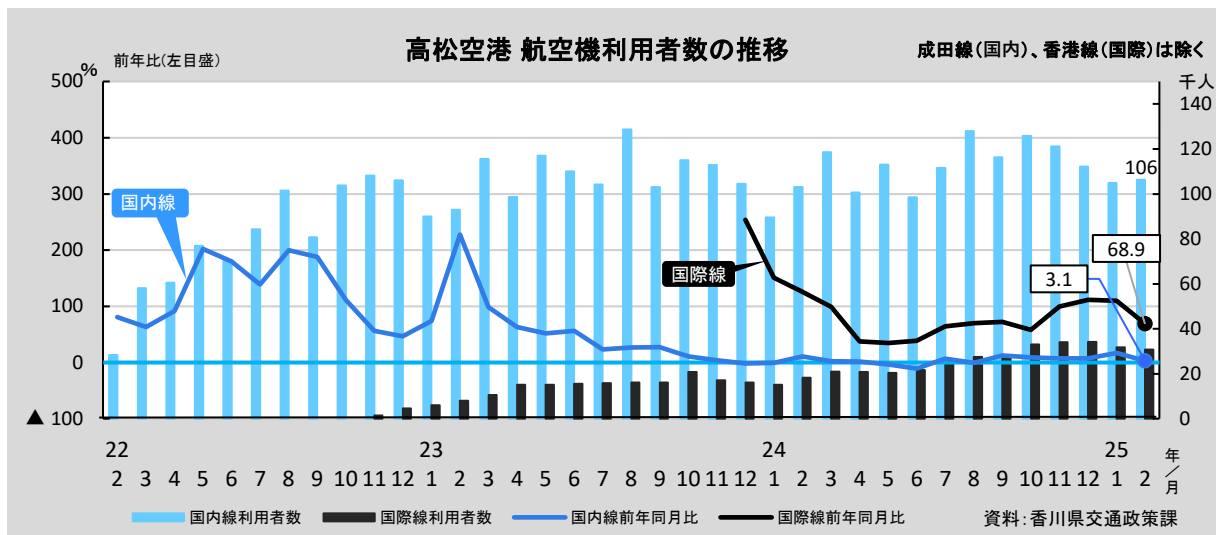
輸出は増加、輸入は減少している



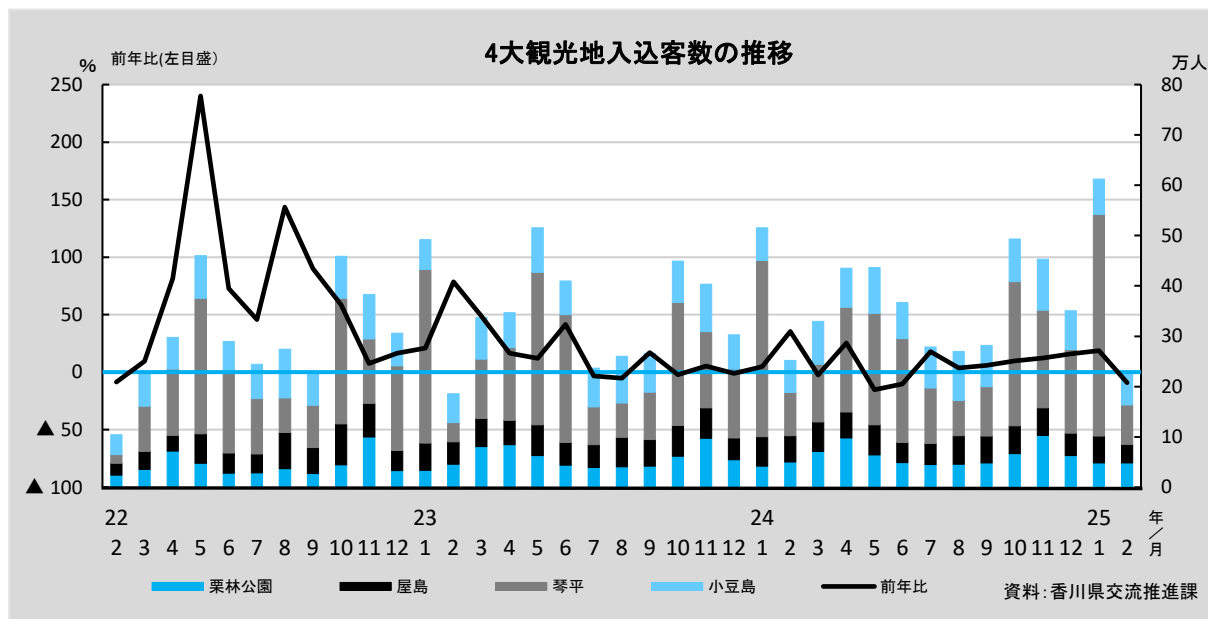
交通

国内線は6カ月連続増加、国際線は16カ月連続増加

●高松空港旅客輸送実績



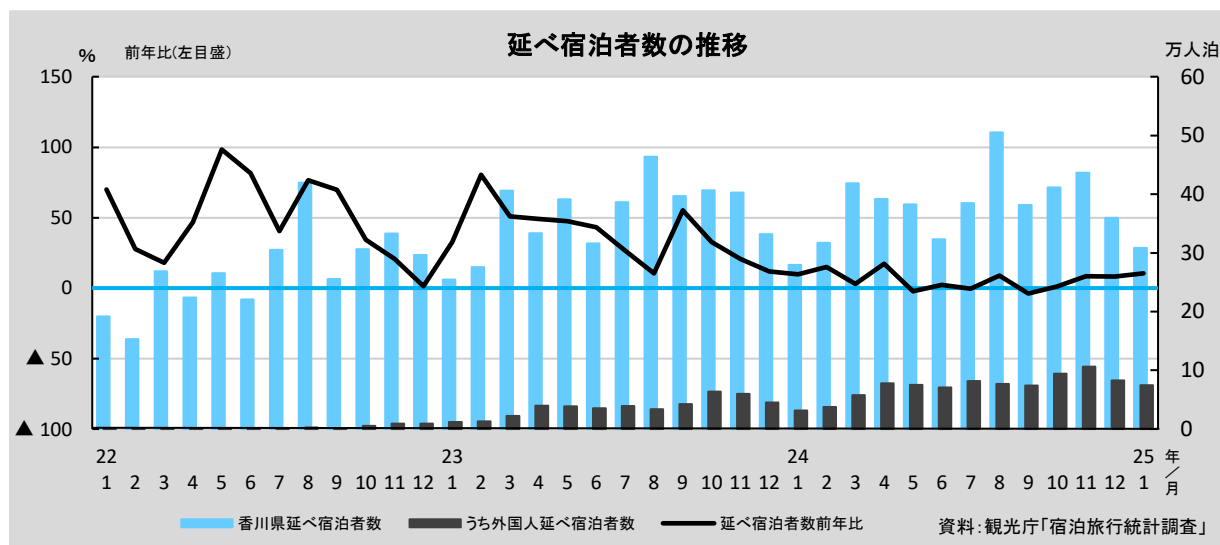
●主要観光地入込客数



観光地入込客数		栗林公園	屋島	琴平	小豆島	合計
2月(人)	前年同月比	48,089 ▲4.1%	37,257 ▲28.5%	78,000 ▲9.3%	65,551 3.2%	228,897 ▲9.1%
1~2月累計(人)		96,505 4.6%	90,781 ▲17.9%	518,000 18.8%	136,203 5.9%	841,489 9.6%

2月の主要観光地の入込客数は、前年同月比▲9.1%と8カ月ぶりに減少した。栗林公園は前年同月比▲4.1%、屋島は同▲28.5%、琴平は同▲9.3%と減少した。一方、小豆島は同+3.2%と増加した。2025年(1~2月)の累計では前年同期比+9.6%となった。

●延べ宿泊者数



1月の延べ宿泊者数は308,620人で、前年同月比+10.4%と4カ月連続で増加した。うち、外国人延べ宿泊者数74,760人となり、前年同月比+135.4%と30カ月連続で増加した。